

機能性物質生産と 植物工場

2023. 6.30 (金)

厚生労働省は、生活習慣病などを予防して健康な生活を維持するため、1日に350g以上の野菜類の摂取を推奨しています。しかし令和元年の調査では、日本成人1日あたりの平均野菜摂取量は男性で約290g、女性で約270gとなっています。より多くの野菜摂取に加えて、野菜中の健康機能性成分含量を高めることも重要です。そこで今回は、野菜中の健康機能性成分含量を高める方法について考えます。また、感染症予防のためのワクチンなどの機能性タンパク質を植物体内で生産する方法もご紹介します。

講演 1. 13:15~14:15

植物の機能性成分含量と防御応答 -遺伝子発現制御による高蓄積化の可能性-

山口 夕 (大阪公立大学大学院農学研究科准教授)



講演 2. 14:20~15:20

植物機能性成分含量を高めるための環境調節技術 -光環境を中心として-

大橋 (兼子) 敬子 (玉川大学農学部先端食農学科教授)



講演 3. 15:25~16:25

植物を用いた医薬品原材料等の有用タンパク質生産

松田 怜 (東京大学大学院農学生命科学研究科准教授)



総合討論. 16:30~17:00

コーディネーター: 北宅 善昭 (大阪公立大学植物工場研究センター長)

募集要項

参加費 10,000円 (税込) 開催方法 オンライン (zoomミーティング)

定員 先着 90名 対象者 どなたでも

申込・振込締切日 2023年6月23日 (金) ※6月23日正午までに入金の確認ができること
※参加費のお振込みについては「お申し込みの流れ」を必ずご確認ください

申込方法 QRコードか下のURLより植物工場研究センターホームページへアクセスしお申込みください
URL: <https://www.omu.ac.jp/orp/plant-factory/>



問合せ先

大阪公立大学 植物工場研究センター (PFC)事務局
E-mail: gr-knky-pfc@omu.ac.jp / URL: <https://www.omu.ac.jp/orp/plant-factory/>